

# 週報

国際ロータリーテーマ



インスピレーションになろう



Vol.52 第2517回例会

2018.11.14

今年度会長テーマ

感謝の心を忘れず、基本・地域・社会を大切に

■I・M (インターシティー・ミーティング) @フォレスト・イン 昭和館

## ■合同例会

■司会：東京武蔵村山RC  
比留間一義幹事

■点鐘：東京武蔵村山RC  
倉内淳会長



■国歌・ロータリー  
ソング斉唱：東京  
武蔵村山RC  
金井一三会員



■参加クラブ紹介：東京武蔵村山RC 倉内淳会長

■会務報告：東京武蔵村山RC 倉内淳会長

松坂順一ガバナーのテーマは「研修と活性化」  
です。それに伴い多摩分区では「行動と感動」  
です。

■幹事報告：東京武蔵村山RC 比留間一義幹事

■出席報告：東京武蔵村山RC 佐藤貢会員

■閉会の点鐘：東京武蔵村山RC 倉内淳会長

[出席] 会員：30名 免除者：1名  
出席者：20名 欠席者：7名  
出席率：74.07%  
前回欠出席率(修正後)：89.66%

## ■インターシティー・ミーティング

■司会：宮崎茂夫  
分区幹事

■点鐘：藤野豊  
ガバナー補佐



■挨拶：野島征  
IM実行委員長

本年度、多摩分区の  
テーマ「行動と感動」  
その思いを実践した  
のが本日のIMです。



■挨拶：藤野豊ガバナー補佐

今日のIMの目的は、  
①1905年当時に戻ればはしませんが、その時に戻っ  
たら、ロータリー感というのは変わるのか？  
それを問いたいと思います。その当時のロータ  
リアンは何を思ったか？今、わたくし達は何を  
思うか？  
②ロータリーに入る前の自分、ロータリーに入会  
後の自分を比べ、何点をあげられるのか？自己  
評価はどのぐらいでしょうか？

■挨拶：倉内淳ホストクラブ会長

■来賓・地区役員紹介：藤野豊ガバナー補佐

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／岩原 隆

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101  
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

■挨拶：松坂順一ガバナー

今年の大きな変化は、RLIを導入致しました。RLIを全国に広めているのが本日の基調講演をおこなって頂ける「中村靖治」様です。本日のお話しは楽しみにしてください。



■基調講演

『ロータリー・変化への対応と挑戦』  
中村靖治様



4大奉仕から5大奉仕への時代に突入しました。このまま奉仕の数が増えてしまうのか？それでもこの100年で4つから5つに1つだけ増えただけです。

日本のロータリー100年史

- 1920年 東京RC
- 1922年 大阪RC
- 1923年 関東大震災
- 1935年 大阪RCでニコニコボックスがスタート
- 1940年 RI脱退
- 1941年 太平洋戦争
- 1949年 RI復帰
- 1953年ロータリーの友

行政・営利でもない団体がなぜ生き続けるのか？  
1905年産業革命が起きている最中に国際ロータリーは産声をあげました。人をだましても儲けをあげるといふ時代に、[相互扶助と親睦][例会は月2回、7月・8月は休み]という原則でスタート。

FLEXIBLE(柔軟性)=クラブで自由に柔軟にクラブの運営の任されている。変えていくかどうか？はクラブ裁量に任されている。

RLI=Rotary Leadership Institute(ロータリー・リーダーシップ・研究会)。松坂年度のテーマは「研修と活性化」。ロータリーを包括的に学習しロータリーを楽しむ。人生の中にロータリーを組み込む。学習するためにはRLIが良いのではないかと？クラブの特定のリーダーを養成するのではなく、一人ひとりの会員のリーダーシップ(指導力)を育むことでクラブの活性化。

RLIは、ただ机に座って聞いているだけの学習ではなく、アクティブ・ラーニングです。文科省でも今後導入されていく学習要領なので、学習というよりも、各自の意見の発見と発表です。RLIの理念は、質の高いリーダーシップの研修を通じて、クラブの活性化を願う草の根運動のプログラムです。

RLIカリキュラム構成  
(3日間のトレーニング)

①ロータリアンとしての私

↓

②私達のクラブ

↓

③私のロータリーの旅

RLIは、ロータリアンがロータリーへの思いを自由に語り合い、個々のモチベーションを確実に高めていく研修会です。

受講者評価からも「自分の思いを述べられる。」「クラブを越えた知人ができ知り合いの輪が広がる。」「自分の職務の遂行に自信が持てた。」「ワークショップ形式は大変良い。」「カリキュラムが統計だっている。」と概ね高い評価を頂いております。

人生、生きて最後に残すものは、「どれだけ集めたか？」ではなく「どれだけ与えたか？」

変えてはいけないもの

「ロータリーの哲学」すなわち「奉仕」

■地区大会のご案内：

小原武夫地区大会実行委員長

■国際大会のご案内：

ベルマン・ピーター地区国際大会推進委員長

■次年度IMホストクラブ挨拶：東京秋川IRC

荻原勇次会長

■記念品贈呈：藤野豊ガバナー補佐

波多野永一直前ガバナー補佐

金野真一直前分区分幹事

■閉会の点鐘：藤野豊ガバナー補佐

■懇親会





当日の写真は下記のURL又はQRコードより  
閲覧、ダウンロードが可能です。

<https://photos.app.goo.gl/nsHupHwEP1TNJaQX7>

